

### (3) 中長期の医療費の粗い推計

#### 1) 現状の医療費に追加すべきコスト

##### ① 医療安全に係るコスト

中医協で報告された医療安全に関するコスト調査結果<sup>46</sup>によると、患者1人1日当たりコストは、病院（入院）406.3円、有床診療所（入院）618.9円、有床診療所（外来）247.6円、無床診療所89.6円であった。病院の外来データはないので、有床診療所の外来と同等と仮定する。そして、1年間の延べ患者数をかけると、現在、医療安全のためにかかっているコストは、全国で4,995億円と推計された（表2-1-2）。

一方、医療安全に係る診療報酬として医療安全対策加算（入院初日のみ50点）があるが、これによる診療報酬額は年17.9億円<sup>47</sup>に過ぎない。医療安全のコスト4,995億円は、あくまで現在捕捉できる範囲のコストに過ぎず、十分なものとは言えないが、ここでは最低限必要な追加コストとして足下の医療費に4,995億円を加算する。

表2-1-2 1年間にかかる医療安全コスト(推計)

		患者1人1日当たり コスト(円) <sup>*1)</sup>	延べ患者数 (千人) <sup>*2)</sup>	費用 (億円)
		①	②	①×②
病院	入院	406.3	504,499	2,050
	外来	247.6	576,568	1,427
有床診療所	入院	618.9	27,067	168
	外来	247.6	229,110	567
無床診療所		89.6	875,035	784
<b>合計</b>		<b>—</b>	<b>—</b>	<b>4,995</b>

\*1) 厚生労働省「平成18年度医療安全に関するコスト調査業務報告書(案)」中医協・医療機関のコスト調査分科会資料(2007年6月18日)

\*2) 病院は厚生労働省「病院報告」、診療所は同「医療施設調査」(いずれも2005年)

##### ② 医療機関の再生産のためのコスト

電気料金、ガス料金は、原燃料価格の変動を料金に反映できる。さらに、料金には原価（人件費、燃料費、減価償却費、諸税等）だけでなく、「適正利潤」として資産に一定の報酬率を乗じた事業報酬が含まれる。これにより、再生産と安定供給が保障

<sup>46</sup> 中医協診療報酬調査専門組織・医療機関のコスト調査分科会「平成18年度医療安全に関するコスト調査業務報告書(案)」2006年6月18日、<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/06/dl/s0618-8b.pdf>

<sup>47</sup> 厚生労働省「社会医療診療行為別調査(平成19年6月審査分)」より、1.49億円×12カ月分。  
[http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/data/650/2007/toukeihyou/0006639/t0145733/E0005\\_006.html](http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/data/650/2007/toukeihyou/0006639/t0145733/E0005_006.html)